

5月の保育 (〇ねらいと担任の思い)

<4歳児 りす組>

入園から1ヶ月が経ち、子どもたちは徐々に園生活に慣れてきた様子で、したい遊びを見つけて遊ぶ姿、身の回りのことを自分でやってみようとする姿が見られるようになりました。

今月は、親子遠足や幼小合同運動会など、初めて経験する活動がいくつもあります。当日を楽しみに迎えるだけでなく、楽しかった思い出や一人ひとりの充実感をその後の遊びにつなげていけるように援助していきます。

- 〇興味をもったことに自分から関わって遊ぶことを楽しむ。
- 〇自然物や生き物に関わる面白さ、戸外で思い切り体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。
- 〇園生活の仕方が分かり、できることを自分でしようとする。

<5歳児 はと組>

年長としての生活の流れが分かり始め、りす組を迎える会や離任式などの準備や当番活動などで友達と話し合い、緊張しながらも張り切って行おうとする姿や、年少組の身支度などの世話を意欲的に行い、優しく関わろうとする姿が見られました。

好きな遊びでは友達とやり取りをしながら遊びを進めようとしています。友達との思いの行き違いでぶつかることもよく見られる時期です。様子に応じて教師も関わり、それぞれの気持ちを受け止めながら、自分の考えを相手に分かるように言葉で伝えることや、相手の話を聞くことを繰り返し経験させ、自分とは違う思いや考え方に気付いたりする機会にしていきたいと思います。

3人組のグループでこいのぼりを作る経験をし、友達と一緒に活動する楽しさを感じています。当番活動もグループの仲間と進めています。自分だけではなく仲間を呼び合って活動を始める、活動の終わりには教師に報告するなど、仲間や課題を意識して活動できるよう引き続き援助していきます。

初夏の気候が気持ちよい季節です。幼小合同運動会に向けてかけっこや体操などに取り組み、自分の力を出せるよう援助していきます。また、リレーや助け鬼など昨年度の年長組がしていたルールのある遊びを思い出しながら友達と一緒に身体を動かして遊ぶ心地よさやチームに分かれて活動する楽しさを味わえるようにしていきます。気温が上がる日には砂場などで水を使ってダイナミックに遊びます。塩ビ管や樋などの遊具を用意し、土や泥の特性に気付きながら繰り返し試したり工夫したりして遊べるようにしていきます。また、ビオトープ周辺の自然環境に関心をもてるよう働き掛けたり、夏野菜の栽培を始めたりすることを通して、世話する気持ちや興味・関心を深めること、発見や感動したことを伝え合うことなど大切にしていきます。

- 〇自分の思いや考えを相手に分かるように伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら生活や遊びを進めていく。
- 〇友達と一緒に戸外で遊び、身体を動かす心地よさや解放感を味わう。
- 〇身近な自然に進んで関わり、取り入れて遊ぶことを楽しむ。